

うべ ECO チャレンジ (えーこっちゃん)
[宇部市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)]
令和5年度 (上半期) の取組結果

1 新しい算定方式による温室効果ガスの排出量の結果

	令和4年度上半期	令和5年度上半期	発生源
CO2(二酸化炭素) (エネルギー起源)	10,500	9,907	燃料の燃焼、電気の使用
CO2(二酸化炭素) (非エネルギー起源)	8,538	7,092	廃プラスチック類の焼却
CH4 (メタン)	245	258	下水の処理、浄化槽による処理、ごみの焼却、自動車の走行
N2O (一酸化二窒素)	938	965	ボイラー、ディーゼル機関による燃焼、自動車の走行
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	3	3	カーエアコン
合計	20,224	18,224	

(t-CO2)

結果

9.9% 削減

電気使用量とCO2排出係数及びCO2排出量の年度比較

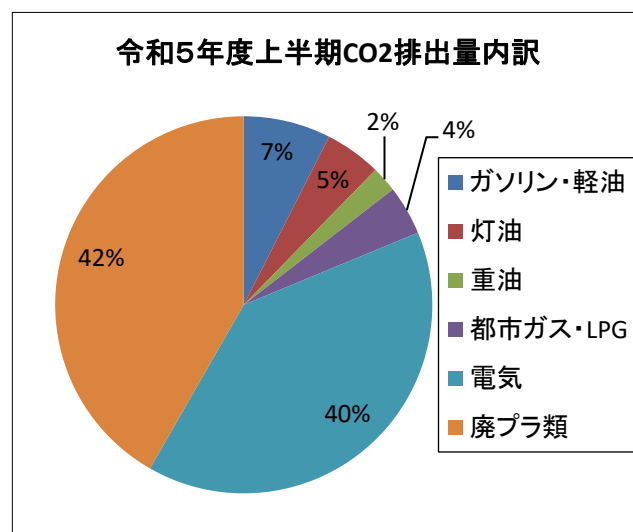
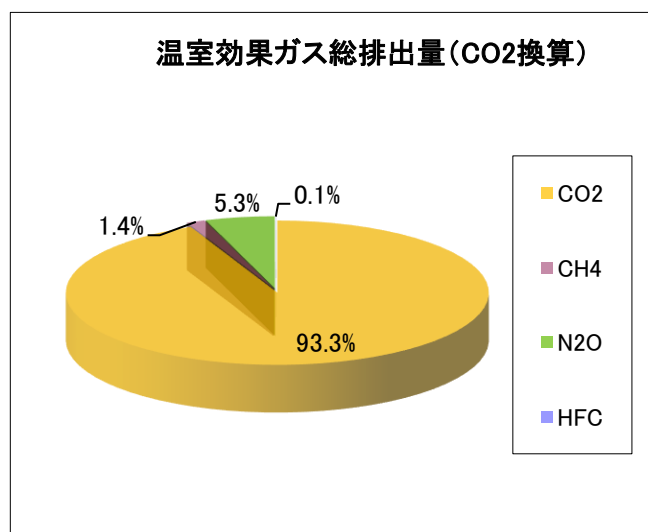
		中国電力(株)	うべ未来エネルギー(株)	(株)ESS	丸紅新電力(株)	計
電気 使用量 (kWh)	令和4年度 上半期	10,778,978	4,762,386	255,699	187,468	15,984,531
	令和5年度 上半期	9,655,329	4,774,923	214,580	209,531	14,854,363
算定に使用した CO2基礎 排出係数 (t-CO2 /kWh)	令和4年度 上半期	0.000531	0.000299	0.000538	0.000379	
	令和5年度 上半期	0.000529	0.000297	0.000453	0.000464	
CO2 排出量 (t-CO2)	令和4年度 上半期	5,724	1,424	138	71	7,356
	令和5年度 上半期	5,108	1,418	97	97	6,720
	令和4年度 -令和5年度	616	6	40	-26	636

【分析結果】

令和4年度上半期と比較すると、エネルギー起源、非エネルギー起源ともに二酸化炭素の排出量が減少しており、エネルギー温室効果ガス排出量は9.9%削減した。これは、エネルギー起源において、LPガス、電気、水道を除いたエネルギーの使用量は増加したものの、焼却場での基幹的設備改良工事完了に伴い発電設備の停止期間がなかったことや東部浄化センターでの消化ガス発電量が増加したことから、買電量が減少したことが主な要因である。

非エネルギー起源においては、ごみ焼却場で焼却される廃棄物の量に大きな変化はなかったものの、一般廃棄物に含まれる廃プラスチック類の割合が前年度より低くなったことで、排出量が大幅に減少している。

下半期は、これまでに培った省エネ手法と、職員の省エネ意識により排出量を更に削減できるよう努める必要がある。



本市の事務事業における温室効果ガス排出量の93.3%を占めるCO2の組成を見ると、一般廃棄物に含まれる廃プラスチックの焼却によるものと他人から供給された電気の使用によるものが大きな割合を占めている。CO2排出量削減のためには、各公共施設において、省エネに向けた設備更新や運用対策などの取組の実施が必要不可欠である。

2 温室効果ガス削減のための取組の結果

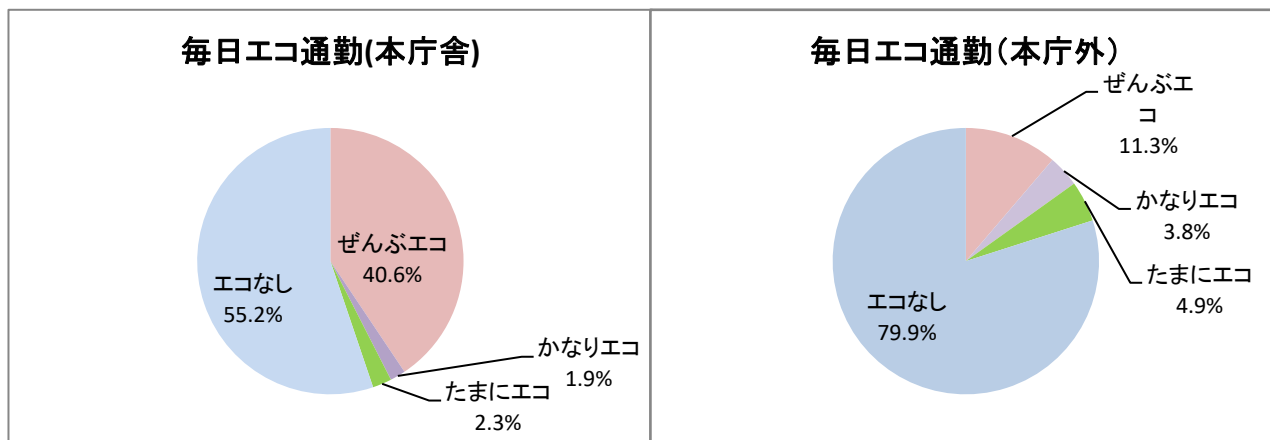
年間を通じて、エネルギー使用量等が増加した施設が多く、グリーン購入率を除く10項目のうち7項目で増加となった。

目標番号	項目	分類	令和4年度 上半期	令和5年度 上半期	削減率	取組状況
①	グリーン購入率 (%)	市全体	99.8%	99.9%	-	調達の難しいケースや適合物品がない場合を除き、各課でグリーン購入が実施できている。
②	コピー用紙 (千枚)	市全体	14,154	12,798	9.6%	新たな制度・サービスの周知等により増加した課等もあるが、小中学校においてペーパーレス化が促進したことなどから、全体で9.6%の削減となった。
③	燃やせるごみの 総排出量 (t)	オフィス	7.3	6.1	16.4%	新庁舎移転に伴う執務室等の整理が終了したことにより、全体で16.4%の削減となった。
④	ガソリン使用量 (kl)	市全体	57.6	55.7	3.3%	施設使用量は、楠こもれびの郷における車両稼働率の増加等により5.5%増加したが、公用車使用量は共用車の使用において、ガソリン車より電気自動車を優先的に利用したこと等により3.7%削減し、全体で3.3%の削減となった。
⑤	軽油使用量 (kl)	市全体	438.9	441.3	-0.5%	全体の使用量の92.3%を占める交通局において、猛暑によるバスの冷房使用が増加したことから0.4%増加し、全体で0.5%の増加となった。
⑥	重油使用量 (kl)	市全体	136.9	138.9	-1.5%	東部浄化センターにおいて、消化槽温度の安定管理を行った結果、ボイラー稼働時間が伸びたことなどが要因となり、全体の使用量が1.5%増加した。
⑦	灯油使用量 (kl)	市全体	318.1	329.9	-3.7%	楠こもれびの郷において、台風・点検による温浴施設の休館がなかったことなどにより、全体で3.7%の増加となった。
⑧	都市ガス使用量 (千㎡)	市全体	212.3	214.9	-1.2%	渡辺翁記念会館において、冷暖房の稼働日数・時間が減少したことなどで使用量が減少したものの、小中学校において猛暑による空調使用の増加等により、1.2%増加となった。
⑨	LPガス使用量 (千㎡)	市全体	37.8	37.8	0.1%	学校給食センターや小中学校で給食日数の増加により使用量が増加したものの、パルセンター宇部での天井工事に伴う一時閉鎖や、焼却場の炉内ガスバーナーの効率的な使用により、0.1%の削減となった。
⑩	電気使用量 (千kWh)	市全体	15,984.5	14,854.4	7.1%	焼却場において、基幹的設備改良工事完了に伴い発電設備の停止期間がなかったことや東部浄化センターにおいて、設備改修に伴い消化ガス発電量が増加したことから買電量が減少し、7.1%の削減となった。
⑪	水道使用量 (千㎡)	市全体	223.0	209.5	6.1%	新本庁舎において、省・創エネ化となったことなどにより、全体で6.1%の削減となった。

【エコ通勤基準】

通勤距離が5キロ以内、または利便性の高いバス路線のバス停やJR路線の駅から1キロ以内に住居がある。

目標番号	項目	その他①	毎日エコ通勤					
本庁舎	区分	エコ通勤実施率	エコ通勤 該当	エコ通勤 非該当	計	実施率 令和5年度 上半期	実施率 令和4年度 上半期	取り組み状況 エコ通勤実施率100%の割合が減少し、逆に0%の割合が増えている。
	ぜんぶエコ	100%	263	18	281	40.6%	40.8%	
	かなりエコ	50%以上100%未満	10	3	13	1.9%	2.3%	
	たまにエコ	50%未満	12	4	16	2.3%	2.0%	
	エコなし	0%	214	168	382	55.2%	54.9%	
	計		499	193	692			
本庁外	区分	エコ通勤実施率	エコ通勤 該当	エコ通勤 非該当	計	実施率 令和5年度 上半期	実施率 令和4年度 上半期	取組状況 エコ通勤実施率100%の割合が増加し、逆に0%の割合が減少している。
	ぜんぶエコ	100%	66	16	82	11.3%	10.9%	
	かなりエコ	50%以上100%未満	16	12	28	3.8%	2.9%	
	たまにエコ	50%未満	18	18	36	4.9%	4.0%	
	エコなし	0%	257	325	582	79.9%	82.2%	
	計		357	371	728			



目標番号	項目	その他②	エコ通勤デー			
区分	通勤者数	実行者数	実施率 令和5年度 上半期	実施率 令和4年度 上半期	取組状況 本庁舎では、一部の職員において、遠方からの通勤や子どもの送り迎え、公共交通が利用できない等のやむを得ない事情による影響もあり、42.5%と前年度より0.7%減少し、出先職場では、立地条件・勤務形態などにより取組が難しいが、15.2%と前年度より0.2%増加した。	
本庁舎	666	283	42.5%	43.2%		
本庁外	670	102	15.2%	15.0%		
R5計	1,336	385	28.8%	30.2%		

